

## 第1章 上手な配置の実例

### はじめに 2

- 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1
- 眺望を演出した変形キッチン 6
- 三角形の増築で豊かなダイニング 10
- 子育て期のキッチン中心の家 14
- 見晴らしの良い場所にキッチンをつくる 18
- 朝日があたふり注ぐダイニング&キッチン 22
- 眺望の開けた菜園につながるダイニング&キッチン 26
- 外の気配が伝わるキッチン 30
- 富士山の見える食卓 34
- キッチンは快適な場所に 38
- 住まいの中心はキッチン 42
- 勝手口が生きている北側でも明るいダイニング&キッチン 44
- 家族のコミュニケーションに配慮 49
- サービスマードが生きているキッチン 52
- 2階にあるダイニング&キッチン 57
- 庭とつながる2階にあるダイニング&キッチン 62
- 北側にあるキッチン 66
- 北側のダイニング&キッチンを東南へ 70

## 第2章 暮らしに合わせた実例

21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
若い親子の触れ合うLDにあるキッチン	コンサートも可能な対面キッチン	子どもと一緒にお菓子づくりを楽しむキッチン	家事は夫と二人で	大勢でつくりながら	働きやすいキッチン	超忙しいキャリアウーマンをサポートするキッチン	片付け上手になるキッチン	家事コーナーのあるダイニング	小さな団地のキッチンリフォーム	店舗併用住宅のキッチン	主婦力ウンターのあるキッチン	食卓を囲む人が増えたため広げたダイニング&キッチン	高齢者のキッチン・近所みんなで危険回避	いろいろな時間を楽しむ高齢者のダイニング&キッチン	住み慣れた場所を選択した高齢者	定年を迎え2階にキッチンの逆転プランにリフォーム	高齢者の集まる部屋にみんなで作るキッチンを配置したリフォーム	多目的利用のシステムキッチン	高齢夫婦のためのコンパクトダイニング&キッチン	大家族で使うダイニング&キッチン
			86	89	92	96	100	104	106	110	114	118	120	124	132	136	140	143	146	

### 第3章 ひと味違う実例

- 1 家庭料の先生の理想のキッチン 150  
 庭を広く感じる斜め配置のキッチン 154  
 2 ワンルームのダイニング&キッチン 158  
 3 田舎風のダイニング&キッチン 160  
 4 一坪の土間に続くキッチン 163  
 5 囲炉裏ばたの座キッチン 166  
 6 畳のダイニング 168  
 7 井戸端キッチン 172  
 8 古い農家を再生し土間で食事を 176  
 9 廃屋を再生したキッチン 178  
 10 三角形の土地を生かして吹抜けのあるダイニング 181  
 11 音楽を楽しむために防音効果を高めたダイニング&キッチン 184  
 12 テラスの両側にあるダイニング&キッチン 187  
 13 夫も台所仕事ができるようにシンクをとつくる 190  
 14 農家のダイニング&キッチン 192  
 15 仕事場のある住まい 196  
 16 子だくさんの家のダイニング&キッチン 201  
 17

## 第4章 気になるあれこれ

1	●ゴミのリサイクルを考える オープンキッチンのゴミ収納	210	208
2	●ゴミのリサイクルに気を使うキッチン どこかに欲しいパントリー	215	212
	●勝手口を兼ねたパントリー	216	
	●2階キッチン・マンションのキッチン 狭いからこそ欲しいパントリー	220	218
3	家事コーナー	222	
	●洗濯室につながるキッチン	223	
4	●キッチン隣のマネージメントコーナー 収納のつくり方	227	225
	●収納重視のキッチン	228	
	●今までの生活を大切にしたい収納 すきまのある引き出し	236	232
5	システムキッチンの選び方	238	
	●居住性を重視したI型キッチン システムキッチンを組み替えし型に再利用	242	240
6	●居住性を重視したI型キッチン 特注キッチンにする理由は？	246	
	●火と水が別のカウンターにあるII型 アイランドの特注キッチン	250	248
	●引き出しが丸ごと洗えるキッチン	252	

第5章 新築・リフォームの前に

3	2	1	14	13	12	11	10	9	8	7						
設計事務所・工務店の賢い選び方 279	予算は前もつてきちんと決める 278	なぜ新築・リフォームするのか理由をはつきりさせる 276	コンセントの数と位置 272	キッチンの照明 270	まな板・布巾・手拭はどこに置く 268	●浄水器はどれがいい？ 267	キッチンの水栓いろいろあるけれど 266	食洗機・給湯器をどう選ぶ 264	魚をおいしく焼きたい 262	●高齢者の場合 261	●IHヒーターって何？ 258	●どんなレンジがいいか 258	●ハロゲンヒーター 260	●換気フード、大きさ・形さまざまあるけれど 254	●暮らしに合わせてフードを見直そう 256	加熱調理器具の選び方 258

●もくじ

9	8	7	6	5	4
おわりに	契約から完成までの細やかな配慮	きちんとした見積りをとろう	リフォームの場合のチェックポイント	ショールームへ行って実物を確かめよう	家具や収納物の寸法を測る
288	286	285	283	282	280

楽しくつくるダイニング&キッチン

はじめに

「量」の豊かさを求め経済発展をしてきた日本ですが、ここに来て大きく価値観がゆるがされてきました。社会での大量生産・消費に明け暮れた時代から、循環型社会の実現に向けた活動に比重を置く時代へと変わりつつある中で、家で過ごす時間の大切さや、自分でものをつくる楽しさの中に豊かさを見出す人も多くなってきました。また、現在大きくクローズアップされている、少子化・高齢化問題や環境問題も、家庭レベルの問題として考えなくてはならない時代なのかもしれません。このような時代だからこそ、家庭のあり方を含め、食生活の要を担うキッチンやダイニングの機能と役割を、もう一度見直す必要があるのではないのでしょうか。

本来キッチンは、ものづくりの場。アレンジする創造の楽しさ、さらに人に食べてもらう、喜んでもらう経験が味わえる場でもあるのです。一日の生活が小刻みな時間に追われている時代ではあっても、仕事が一段落したときや、家庭にうれしいことがあったとき、辛いことがあるからこそ、ちよつと料理に手をかけると気持ちも晴れやかになることもあります。これまで、作っては片付け、片付けては作る、単に辛い孤独で単調な家事から、楽しい家事へ。一人から、家族と一緒に、そして時には友達と一緒に……定年を迎えた男性の料理教室も増えているように、キッチンを自分の域だけにせず、このものづくりの体験を家族や親しい仲間と楽しく共有することもできるのです。

キッチンやダイニングは、食づくりや、食生活を楽しむ場として、家族の健康を支えるばかりでなく、家族のコミュニケーションを図る、住まいのキーステーションともいえます。施主と設計者として夢を描いてキッチン・ダイニングをプランニングすることは、家族のあり方やラ

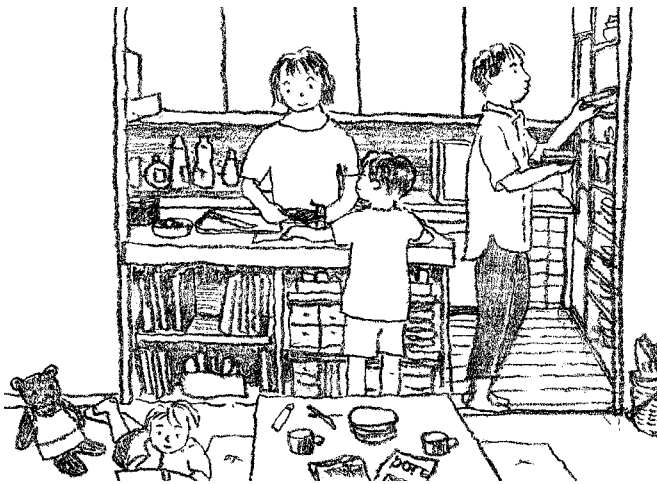


## ●はじめに

ライフスタイルを設計することにもつながるのです。

この家族のあり方も、大家族だった時代から、夫婦・子供二人が平均的な家族像であった時代へと移り、そして現在は、小家族化、高齢家族の増加、シングル世帯や二世帯、三世帯で暮らす家族など、多様化の一途をたどっています。これとともに、自分たちがどのような生活を送りたいか、ライフスタイルも選択の幅が広がり、ひとそれぞれです。食材にこだわる人、お客さんを呼んで大勢で食べるのが好きな人、電化製品をフルに利用したい人など、食生活にかかわる部分だけでも千差万別。さらに、どの家庭にも、生まれ育った地方や両親から伝わり、時代の流れとともに自分たちで付け加えたそれぞれの食文化、というべきものもあるはず。郷土料理やその国の料理が立派な食文化であるように。

ですから、どの家も同じようなキッチンとダイニングに同じような料理が並ぶということはありません。住まい手のライフスタイル、食文化を反映した

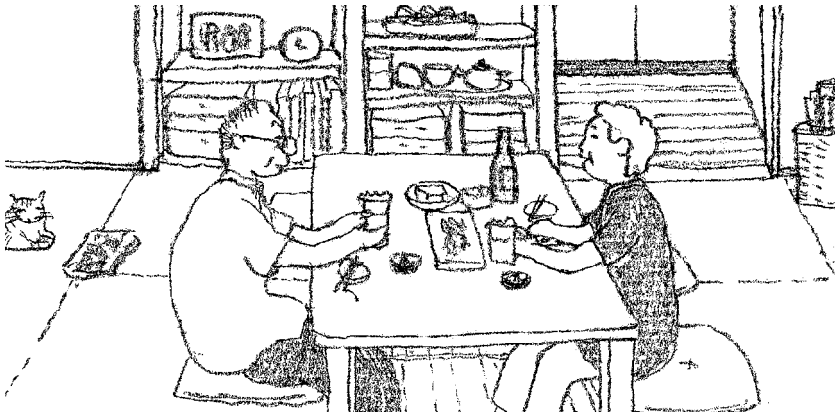


楽しくつくるダイニング&amp;キッチン

無限の形の可能性の中から、自分たちの理想の実現に向け、楽しくつくっていただきたいと思います。

この本の第1章から第3章では、そういうさまざまな家族のライフスタイルにあったキッチンとダイニングを実例を通して示してみました。また、第4章ではキッチン選びの際に気になることを取り上げてみました。デザインや機能だけにとらわれず、まずはキッチンの基本をふまえ、そこに自分たちの意思をどう組み込むことができるかを考えていくことが大切です。

キッチンやダイニングの空間が家族の生活の要となっているかを日々実感している、生活者であり建築士である私たちが設計した例を参考にしたいいただき、みなさまが自分らしく豊かな生活を楽しむためにも、より快適な暮らしや空間づくりのお役に立てれば幸いです。



# 第1章

上手な配置の実例



## 1 眺望を演出した変形キッチン

共働きで時間に追われる家族にとって、家族のコミュニケーションを図る時間、食事の時間、家事をする時間はどうしても限られた時間に集約されることになります。その貴重な時間を過ごすスペースが、眺めの良い、心の安らぐ空間であったら、忙しい一日の疲れも同時に癒されることでしょう。

通常、リビングやダイニングは日当たりの良い南側に窓を配置しますが、南側には隣家が迫って眺めもよくありません。そのかわり、東側には高台からの素晴らしい海の眺めが広がっています。そこで、日中留守がちなN邸は、昼間の日当たりよりも、この眺望を優先したLDKの配置計画をすることにしました。

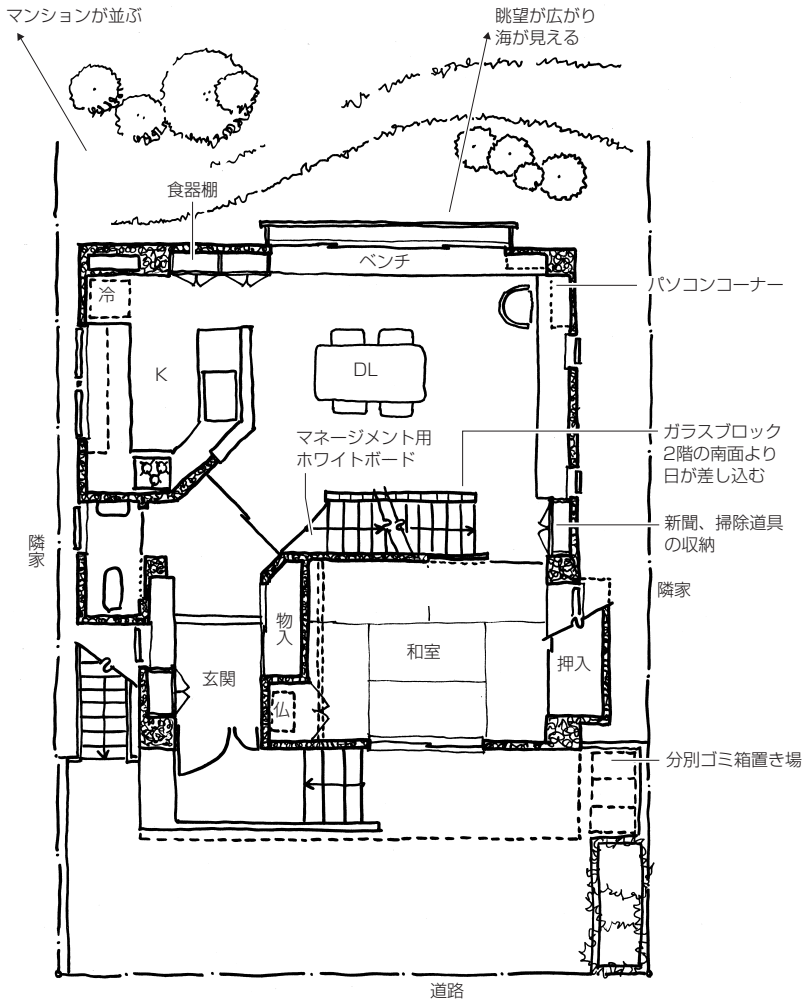
大きな船がゆつたりと航海している絵画のよ

うな風景。この素晴らしい眺めを切り取る天井までの大窓は、LDKの壁の大部分を使った広い開口とするために、建物の構造は、壁量の心配のいらぬ重量鉄骨造にしました。玄関から居間への入り口は、この窓に向かって、斜め45度に設置し、扉をガラリと開けると、目の前に雄大な海の景色がパッと視界に飛び込むしかけです。

家族がそろそろ朝と夜の時間帯を考えても、東側の窓は有効でした。海からのぼる朝日を眺めて一日を元気にスタートし、夜は漁火や遠い街明りでホッとひと息。共働き家族の生活リズムをふまえ、日当たりだけにこだわらない、発想を転換したプランです。隣家の迫る眺望の悪い南側と北側は、掃除機や新聞、書斎コーナーや

●第1章 上手な配置の実例

楽しくつくるダイニング&キッチン



所在地 神奈川県横須賀市  
構造 重量鉄骨造3階建  
家族構成 夫妻(40代)  
長女(20歳)  
長男(18歳)  
設計 小渡 佳代子

0 1 2<sup>m</sup> z ←

TV、そして食器棚などの収納を設け、ブラインドにしています。

キッチンの配置は、眺望を考慮し、家族の誰もが食事の準備や後片付けを手伝いやすいようにオープンタイプに。リビングやダイニングと対面しているので、特に作業中の散らかりやにおいにも配慮して、カウンターの高さは手元が十分に隠れる高さに、換気扇の位置も居間や食卓から見えにくい位置に計画しました。

広さ3帖ほどのキッチンですが、二人で立つても余裕のあるスペースを確保してあります。この変形キッチンにはシステムキッチンを入れ、コンパクトな中にも希望に合わせた収納を充実させました。数年後に、収納の一部分を食洗機に変えられたのは、システムキッチンのメリットのひとつといえます。

Nさんの希望もあって、玄関から2階の個室への階段は、LDKを通過して上るように配置す



## ●第1章 上手な配置の実例

ることで、キッチンにいても帰宅した家族に言葉をかけ合うことができます。そして、階段の入り口には家族全員の予定を入れられるホワイトボードを設置。子どもたちも大きくなるにつれ、それぞれの予定でその日の夕食の人数も違ってきますので、このボードで家族の予定も把握できて便利です。

共働き家族の家事は、家族の協力なくしては成り立ちません。日当たりの悪い条件でも、眺望のいい位置にLDKを配置したことで、家族団らんの中で、みんなが気持ちよく家事に参加し、家族の触れ合いを育むと同時に、安らぎをもたらしてくれた例です。

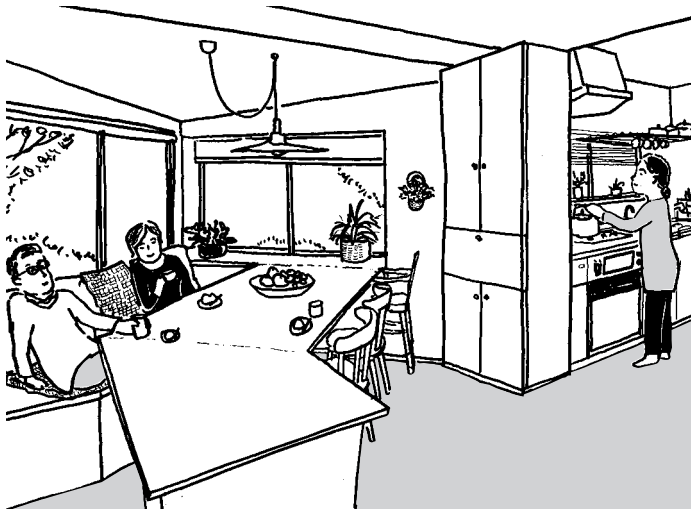


楽しくつくるダイニング&amp;キッチン

## 2 三角形の増築で豊かなダイニング

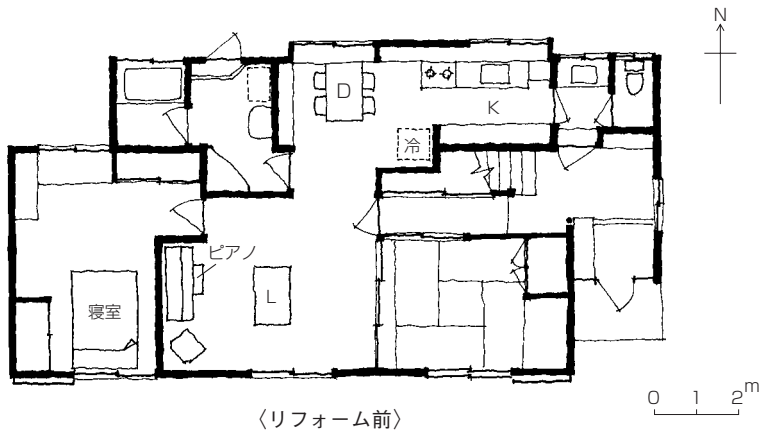
家族の成長に合わせて家も成長してくれればよいのですが、残念ながら伸縮自在の住宅はまだ開発されていません。

この家も、子どもが小さいうちはさほど不自由を感じなかったのですが、大きくなってくると急にダイニングが手狭になり、なんとかゆとりと食事ができる空間を確保したいということでした。幸い北側に敷地は残っています。四角く増築するのも可能でしたが、大きな樹が2本枝を張っています。切るのはしのびなく、その樹を残して増築を考えたので、三角形の変形ダイニングが生まれました。1坪弱の増築にもかかわらず、広々と感じます。窓も2面とれて明るくなり、季節によっては朝日も差し込むそうです。2本の樹が豊かな食卓をプレゼントし





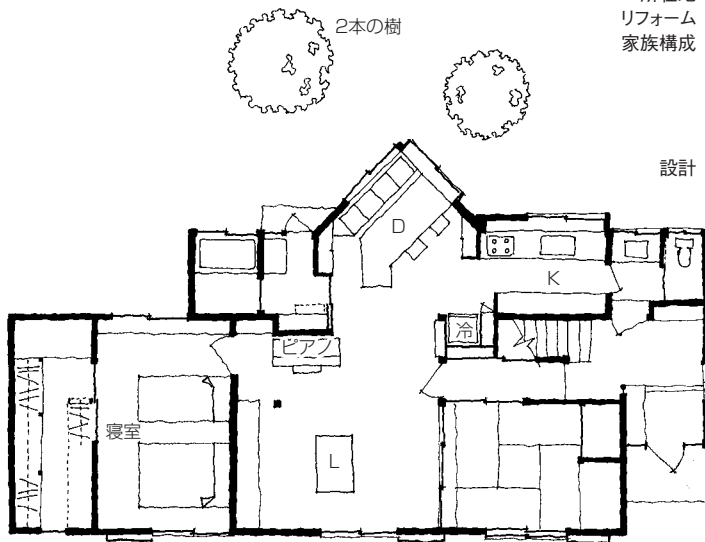
●第1章 上手な配置の実例



〈リフォーム前〉

所在地 東京都北区  
リフォーム 木造2階建  
家族構成 夫妻(30代)  
子ども(11歳)  
(8歳)  
(3歳)  
(0歳)  
設計 矢賀部 雅子

楽しくつくるダイニング&キッチン



〈リフォーム後〉

てくれたようです。

増築にあたって、大きくて大勢座れるテーブルも希望の一つでした。

出窓から伸びたテーブルは、190 cmのところから45度振れて折れ曲がっています。この三角形の増築が生んだ変形テーブルですが、思いがけず落ち着くようで、食事のときだけでなく自然と人が集まるようです。ベンチも造り付けで、フタを開ければ全部収納です。奥行きも65 cmあり、ゆったりと腰掛けられます。

キッチンに吊り戸棚はつきものなのですが、本当に使いやすい吊り戸棚は少ないのではないのでしょうか。この家は、窓を大きく取り、外を見ながら作業したいということで吊り戸棚はつけませんでした。そのかわりパイプ棚を付けています。鍋やボール類がサッと置いて便利だそうです。このように、キッチンの上は吊り戸棚と思いつまみないで、自由な発想で新たな空間を

生み出してほしいと思います。

E夫妻は共働きで四人のお子さんがいます。家事をこなすのも大変では…と思いきや、涼しい顔で手際よくこなされています。何か秘訣があるのではと様子を見てみると、動きに無駄がありません。生活に決まりがあるようです。そのため収納にもこだわりがありました。

ダイニングの収納はおろそかにしがちですが、食卓をきれいにしておくには、近くに小物の収納が欲しいものです。この家ではキッチンとの間に奥行き30 cmほどの収納をつくりました。トースターや料理本、文房具も簡単にしまえるようにしています。

壁厚を利用した収納も重宝されています。上は扉付きで、薬や電池等の日用雑貨品、電化製品の取扱説明書、扉の裏にはポケットを付けて、レシート類や鍵かけ、連絡網も貼られています。変形テーブルの下にも収納を設けていま

●第1章 上手な配置の実例

す。不意の来客時でも、読みかけの本や新聞などをさっとしまえ、一時保管ができます。収納にも、指定席と自由席が必要のようです。また、ふだんは使わない食器や記念のグラスなどは飾り棚に。

このように、すぐ使うものとたまにしか使わないものを分けて収納するのもスッキリと暮らすコツのようです。

楽しくつくるダイニング&キッチン

